



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 東京コスモス電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩崎 美樹
(コード番号 6772)
問合せ先 取締役管理本部長 小野沢一実
(TEL 046-253-2111)

営業外収益・営業外費用・特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）において、下記のとおり営業外収益・営業外費用・特別損失を計上することとなりましたので、お知らせします。

1. 営業外収益の計上

第 1 四半期会計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）においては、為替差損 11 百万円を営業外費用に計上していましたが、第 2 四半期会計期間では、米ドル・台湾ドル・人民元が対円で高騰したことから、当第 2 四半期会計期間（平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）では一転し、為替差益 23 百万円の計上となりました。当第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）においても同額の為替差益を営業外収益に計上する見込です。

2. 営業外費用の計上

当第 2 四半期会計期間（平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）において連結子会社である広州東高志電子有限公司の本格稼働に向けた諸費用 30 百万円を開業費償却に追加計上いたしました。第 1 四半期会計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）での計上分 35 百万円と合わせて、当第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）では、開業費償却 66 百万円を営業外費用に計上する見込みです。

なお、広州東高志電子有限公司は当第 2 四半期累計期間末では本格稼働しておりますので、今後は上記費用の発生見込みはありません。

また、第 2 四半期会計期間（平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）に連結子会社である会津コスモス電機で発生した工場移転費用等 20 百万円を追加計上し、第 1 四半期会計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）に計上済みのその他（雑損失）9 百万円と合わせて当第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）では、その他（雑損失）として 29 百万円を営業外費用に計上する見込みです。

3. 特別損失の計上

当第2四半期会計期間（平成29年7月1日～平成29年9月30日）においても連結子会社である東高志（香港）有限公司の番禺工場（中国広州市）閉鎖に伴い発生した経済補償金等について事業構造改善費用として23百万円の追加計上を行いました。第1四半期会計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）において、計上済み12百万円と合わせて第2四半期累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）では、36百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上する見込みです。なお、今後工場閉鎖の完了までに追加の費用発生が見込まれますが、現時点では追加発生額を合理的に算定することは困難な状況ですので、上記金額には含めておりません。

4. 今後の見通し

本件に伴う、平成30年3月期の業績予想への影響につきましては、平成29年8月9日に公表しました「平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）」を、現時点では変更いたしません。業績予想の修正が必要となる場合には、確定次第、速やかにお知らせいたします。

以 上